

策定趣旨

- 社会や経済の大きな変化に直面
(エネルギー・食料の安定供給等)
- 人口減少・少子高齢化の進行
(地域の担い手不足の深刻化等)

本道の**ポテンシャル**を活かし、
国内外の新たな需要を取り込む
持続的発展につなげることが重要

令和6(2024)年度
から概ね10年間

新たな総合計画を策定
(道民の皆様等と連携し、共に行動していくための指針)

< 策定経過 >

- 北海道総合開発委員会における審議
- 個別訪問による意見聴取(市町村、高校生・大学生、地域住民等)
- 文書による意向調査(道民、市町村、企業、団体)
- パブリックコメントの実施(こども意見募集も併せて実施)

めざす姿

北海道の力が日本そして世界を変えていく
一人ひとりが豊かで安心して住み続けられる地域を創る

政策展開の基本方向

基本方向1 潜在力発揮による成長

本道の特性やポテンシャルを北海道の力に変え、北海道自らが発展するとともに、**日本そして世界の発展を牽引していく**

食

デジタル

観光

ものづくり・成長分野

ゼロカーボン

産業活性化・業種横断分野

基本方向2 誰もが可能性を発揮できる社会と安全・安心な暮らし

人口減少の進行や地域社会の縮小に直面する中、**道民の暮らしを守り、次の世代に引き継ぐ**

子ども・子育て

就業・就労環境

教育・学び

中小企業・商業

医療・福祉

安全・安心

基本方向3 各地域の持続的な発展

道内各地域の特性とポテンシャルを活かした持続的な発展を、**本道全体の発展につなげていく**

地域づくり

社会経済の基盤整備

グローバル化

自然・環境

北海道の強靱化

歴史・文化・スポーツ

地域づくりの基本方向

個性と魅力を活かした地域づくり

- 地域の特性・優位性や豊かな地域資源の活用
- 振興局と市町村が一体となった取組の推進

様々な連携で進める地域づくり

- 道内外の多様な主体との連携・協働の推進
- 地域相互の連携・補完の推進

計画の推進

- 特定分野別計画・重点戦略計画・地域計画と一体的に推進し、実効性を確保
- 職員一人ひとりが計画を理解し、市町村等と連携を強めながら取組を推進

点検・評価

毎年度の点検・評価

- 政策評価を通じた指標や施策の状況把握
・政策の方向性ごとに108の指標を設定
- 重要モニタリング指標や、社会経済情勢も含め多角的に分析



中期的な点検・評価

毎年度の点検・評価結果や、政策の中間目標の達成状況をもとに実施

普及

学 校	ディスカッション、ワークショップなどの実施
市町村・住民	地域説明会の開催(14振興局)
企業・団体	包括連携協定締結企業などへの周知、出前講座の実施
そ の 他	PR動画の配信、道公式SNS、広報紙などによる情報発信 など